

環境調査結果のお知らせ

平成22年7月28日
中央漁業指導所・水産試験場

平成22年7月28日午前10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知市支所前岸壁)の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

水温と塩分

水温は25.76～28.54℃で、前回調査時(平成22年6月28日)よりも3～7℃上昇していました。塩分は15.48～31.53で、河川水の流入の影響で0～2m層がやや低くなっていました。

溶存酸素

溶存酸素濃度は3.13～9.85mg/lでした。酸素濃度は全体的に低下しており、水深3m以深では3mg/l台になっていました。

プランクトン

透明度は1.2mでした。プランクトンの現存量は少なかったですが、有害種のカレニア・ミキモトイが0～21cells/ml確認されました。また、有害種のヘテロシグマ・アカシオが3～9cells/ml確認されました。ヘテロシグマ類は、浦戸湾で毎年春先から初夏に赤潮を形成していますので注意が必要です。その他、特に危険な有害プランクトンは確認されませんでした。

海水温の上昇と降雨による環境変化で、赤潮が発生しやすい時期です。海面の様子や魚など生き物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

平成22年7月28日の観測結果(高知市横浜 水深:3.4m 透明度:1.2m)

	今回観測結果			前回観測結果(2010.6.28)		
	水温(℃)	塩分	溶存酸素	水温(℃)	塩分	溶存酸素
0m	28.54	15.48	9.85	23.03	0.60	12.19
1m	28.30	19.83	9.23	21.00	0.72	12.56
2m	26.47	30.06	5.61	21.06	2.04	11.40
3m	25.81	31.47	3.64	-	-	-
底層	25.76	31.53	3.13	22.85	24.60	7.28

プランクトン

		カレニア・ミキモトイ	ヘテロシグマ・アカシオ	メソディニウム・ルブラム	ジャイロディニウム・ドミナンス	プロトベリディニウム属
		横浜岸壁	0m	0	9	4
	2m	19	8	0	8	0
	B-1m	21	3	2	4	0

以上